躍進の永遠の目標
価値ある「安心・空間・環境」を創造する

主な内容

②面 外装一式工事が本格化！
③面 安心して住まうための必需品！
④面 マンション管理組合の財政難など5団体が現状報告

発行所
埼玉県さいたま市見沼区中川106-1
TEL048・688・3388
FAX048・680・7615
株式会社 躍進
編集・発行人
笠井 輝夫
頒価：216円（送料込み）

令和の躍進はより一層の顧客第一主義で邁進します！

天皇陛下が正式に即位し、「ようやく令和らしくなったなあ」と思う間もなく、令和元年も暮れようとしています。

この一年の躍進を振り返れば、六月には笠井輝夫社長自身の二冊目の著書となる『**昭和と平成を翔け抜け令和へ**』（**写真**）を上梓いたしました。

これは、平成十二年十月の躍進設立を前後として、平成における「ビジネスマン笠井輝夫」の歩みをはじめ、同二十四年十一月に発症した脳内出血と、同二十六年十二月に見つかった肝臓癌を克服した笠井社長の闘病記を掲載したものです。新時代の幕開けにふさわしく、笠井社長の思いの丈が披露された一冊です。

何事もお客さまからスタート

そして、笠井社長はこの本を上梓するにあたり、「令和の時代はより一層の顧客第一主義であるべきだ」と、改めて肝に銘じました。

すべてのビジネスは「まず顧客ありき」です。何事もお客さまからスタートしなければならないのです。

そして、お客さまのニーズを掴み、それにすばやく的確に応えることが躍進の使命責務と考えております。

お客さまが必要とされていること、お困りごとなどがあれば、その解決のため一心不乱に邁進することが「令和の躍進の顧客第一主義」です。

それには、これまで以上にお客さまに寄り添いながら、誰よりもどこよりも早く的確な商品・サービスをお届けできるように、会社が一丸となって取り組むことが第一義と心得ております。明くる令和二年もどうぞ躍進にご期待ください。

羅針盤

(株)躍進
代表取締役
笠井輝夫

早いもので、令和元年も師走を迎えました。一年を振り返ると、弊社は、人員縮小にも拘わらず、限られた人員、時間内で、チーム一丸となり、縦と横の連携を密に分業して、最大限の力を発揮してきました。

そして、必ずしも恵まれた環境が良いわけではないと痛感しました。不都合だらけの環境であるからこそ、気付きも多くあります。改善せねばならぬことも明確になり、問題が起きた時に即断・即決・即改善していた社員の姿を見守り、一人ひとりのやる気と覚悟から、使命と責務を感じさせて頂き、嬉しい限りです。

思いもかけぬ危機（災害、事故、トラブル）が起きた時、人間の反応には大きく分けて三つのパターンがあります。

一、レジリエンス（再起力）：悲惨な出来事にショックを受けても、健康的な食事を取ったり、眠ったりでき、今後の計画を立てられます。

二、リカバリー（回復力）：悲惨な出来事が起きた直後は呆然とし、眠れなかったり仕事ができなかったりするが、しばらくすると元に戻ります。

三、クロニシティ（慢性化）：危機的状況が慢性化し悪化します。

クロニシティは即くい止め、レジリエンスに変革させなければなりません。

これからの時代は「困難が起きても大丈夫な自分」を構築する力、レジリエンスを身に付けることが大切です。それは、目の前の難局にめげることなく、これを乗り越え、かつての姿に戻すというより、それ以上になって復活する力のことです。

この能力は誰にでも備わっているもので、また組織として習得することも可能です。

元来日本人は、レジリエンスが高い傾向があるそうです。それは「人生は元々楽あれば苦あり、苦あれば楽あり」だとする文化的な価値観があるためだと思います。そしてこれら三つの特徴は、生まれ持っているものではありません。いずれも、後天的に身に付けるものです。

人間の高貴さとは、やはり意識的な努力の賜物なのだと感じずにはいられません。そして、皆さまも、総じてこの高貴さと、レジリエンスを発揮されていかれますことを願います。それに立ち会えることは、我が人生最大のチャンスであり、喜びと捉えて、高いレジリエンスを養いたいと考えます。よろしくお願い申し上げます。

足場パック ウインターキャンペーン

外装一式工事が本格化！

躍進のリフォーム総合提案「**足場パック**」は、現在ウインターキャンペーンの真っ最中。特に外装一式工事の受注を数多くいただいております。

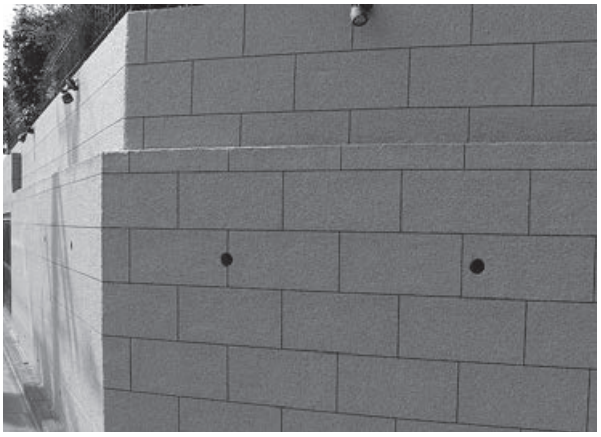
最近では、戸建てに加えて、管理物件アパートの外装一式工事の依頼が多くなりました。

戸建て、アパートに限らず、外壁の塗り替え時を示す兆候として、以下のような現象があげられます。

①外壁を手でこすると手に粉が付いてくる
②外壁の汚れが目立つ
③塗膜が剥がれている
④外壁にひび割れが入っている

もしこれらの症状が一つでもあてはまったら、それは塗り替えの時期がきているサインです（**写真左上**）。

躍進では、高弾性のつや消し塗料『**ビュークリーンウォール**』（**写真左下三枚**）をお薦めしております。柔らかいのに汚れにくく、塗膜表層にナノビーズが配列され汚れをガード。さらに表層はラジカル架橋によって汚れを跳ね返す強靭な鎧となっており、トップコートが不要なのです。



自然石調の風合いが大人気

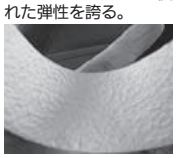
いまや自然石調の装飾仕上塗材としてすっかりおなじみとなりました『**エレガンストーン**』（**写真右二枚**）は、自然石の無機系素材がベースで、建物のエントランス部分から、戸建て住宅の外壁にも用いられています。自然の風合いを活かした意匠性が、壁面を多彩に演出します。

主な特長は以下の通り。

【意匠性】
豪華な自然石調の仕上がりが得られます。

【耐久性】
無機系素材の使用により耐久性に優れます。

【超低汚染仕様】
超低汚染型のクリヤートップを施工することで耐汚染性を向上させることができます。



塗装サンプルを曲げても（写真左および下）一切クラックが入らない優れた弾性を誇る。

本誌はモノクロ印刷ですので、色合いをはじめ、全体的な風合い、さらに施工手順は、右記のQRコードならびにURLでご確認ください。

この時期の外装一式工事は躍進におまかせください。お気軽にご連絡を。

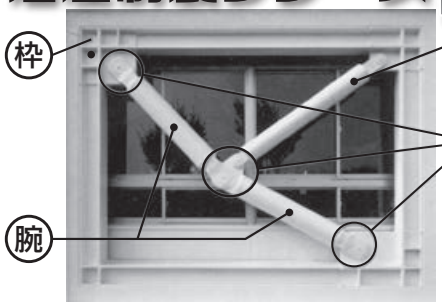
http://yakushin.jp/exterior-painting/

開口部や空いている壁面を補強するだけで

耐震性がアップ！

ますます好評！

増幅機構付き油圧制震ブレース トグル制震構法



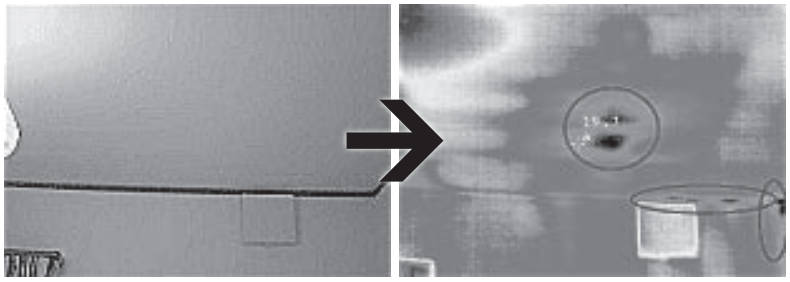
オイルダンパー
日立オートモティブシステムズ（旧トキコ）社製。
半永久的に使用が可能です。

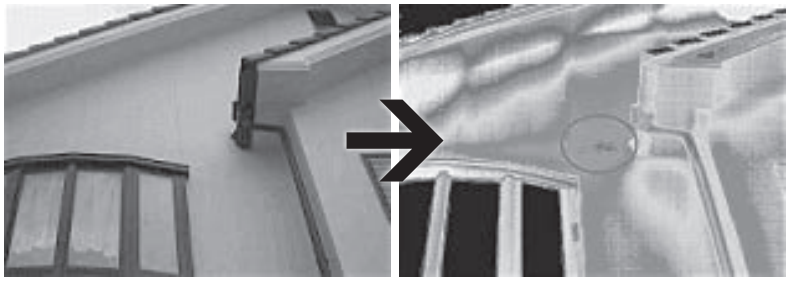
クレビス（回転支承部）
強度に優れた鍛造品を使用しています。
鍛造品は、加熱した金属を金型で圧縮、打撃、鍛錬して成形されます。
一般的に疲労度が大きい箇所や靭性が必要とされる部分に使われます。

鋳造品ではなく鍛造品を使用！

お問い合わせは躍進までお気軽に！
〒337-0043
さいたま市見沼区中川106-1
TEL 048-688-3388
FAX 048-680-7615
URL=http://www.yakushin.jp
E-mail=yakushin-no1@nifty.com

赤外線漏水調査システムと浴室換気乾燥暖房機は安心して住まうための必需品！





家は、安心して住まうことができることが、何よりも基本中の基本といえます。そんな安心を確保するのが、いまや躍進の定番商品となりました『**赤外線漏水調査システム**』と**浴室換気乾燥暖房機**なのです。

温度差を色画像で表示し漏水箇所を特定

専門の調査会社が、調査・補修をくりかえしていながらも、一向に雨漏り被害が改善されないというケースは、あちこちで聞かれます。そうしたお悩みを一気に解決したのが、サーモグラフィ法による『赤外線漏水調査システム』です。

赤外線は、温度を持つすべての物体から、その温度に応じた波長分布によって、自然に放射されます。その波長分布を、色画像として示し、様々な状態を分析する装置がサーモグラフィです。そのため、今まで発見できなかった雨漏りの侵入口も明確に特定することができます。

サーモグラフィの特徴は、広い面積を同時に捉えることができるため、モニター上に映し出される温度の相対比較をひと目で分析できます。

サーモグラフィは、対象物から離れて温度測定ができるため、動いているものや、近づくことができない危険なものでも簡単に温度計測・分析することができます。

例えば、**右上上段二枚の写真**は、天井の一部と天井と壁の間が漏水している写真です。

誌面はモノクロであるため、ちょっと分かりづらいかもしれませんが、サーモグラフィ上では、部屋全体の温度は緑色で表示されています。

そして、暖房などで室内が暖まると赤色に変化します。しかし、漏水箇所は水色で表示されるのです。サーモグラフィ上では、丸で囲った部分には、水色を通り越して、濃い青色が示されており、ここが漏水箇所であることが分かります。

また、**右上下段二枚の写真**は、外壁に放水後、表面が乾いてから、サーモグラフィで計測したもので、下屋の雨どい脇に、赤外線画像では濃い青色が示され、その部分に水が蓄積していることが確認できるのです。

ヒートショック対策には欠かせないアイテム

躍進では、ヒートショック対策用の**浴室換気乾燥暖房機**として、「**壁面タイプ／浴室用／防水仕様**」、「**同／脱衣室・トイレ・小部屋用**」、「**同／換気扇内蔵タイプ**」、「**同／換気扇連動タイプ**」、「**天井取付タイプ**」（**左下写真**）をご用意いたしました。

冬場の浴室の脱衣所やトイレ、廊下などで寒さにさらされると、血管の過度の収縮により血圧が急変動し、脈拍が早くなり、高齢者の場合、心疾患や脳障害などの事故につながることもあります。最悪の場合、急性心不全、心筋梗塞、くも膜下出血などによる突発的な死を引き起こします。

六五歳以上の方は、たとえ健康に自信があったとしても、入浴時には注意が必要です。熱いお湯がお好きな方は、脱衣所と浴室の温度差は一〇度以上にならないようにしましょう。さらに、高血圧・糖尿病・動脈硬化のある方、肥満気味の方、睡眠時無呼吸症候群や不整脈がある方、飲酒後に入浴する習慣のある方などは要注意です。

◇　◇

言うまでもなく、雨漏りは家を傷め、劣化を促進します。また、脱衣所の寒さが凶器なるのなら、家の基本性能は失われていると言っても過言ではないでしょう。

『赤外線漏水調査システム』と浴室換気乾燥暖房機で、安心して住まうことができる家の性能を確保してください。

ご依頼、お問い合わせは躍進までお気軽に。

浴室用モデル

涼風暖房機：防水仕様
SDG-1200GB　●電源コード（棒端子接続）タイプ

脱衣室・トイレ・小部屋用モデル

涼風暖房機：非防水仕様
SDG-1200GS　●電源プラグ（コンセント差込）タイプ

壁面取付タイプ　生活防水　特定保守製品

ワイヤレスリモコン（生活防水）
BF-861RX
BF-861RXR
NEW

天井取付タイプ

特定保守製品
NEW
2室 同時換気　浴室にプラス1室を同時換気。乾燥中でも他室の同時換気が可能。

ニュース・新製品・政策・経営・インフォメーション

マンション管理組合の財政難など5団体が現状報告 国交省

国土交通省は十一月一日、第二回マンション政策小委員会を開催し、老朽マンションの管理適正化および再生の円滑化にあたっての課題の整理を行いました。マンション管理業協会等の事業者五団体が、マンション管理組合の財政難や管理員の人出不足などの現状を報告しました。

マンション管理業協会は、修繕積立金の不足による財政難や、六五歳定年制の普及等による管理員を中心とする人手不足という現状を報告し、管理組合財政の健全化やマンション管理が市場価値へ正しく反映される仕組みづくりの必要を指摘しました。

マンション計画修繕施工協会は、マンション修繕・設計コンサルタントの業務の適正化への取り組みが必要であると強調。具体的には、老朽マンションの大規模修繕にあたっての設計コンサル業務が、原則建築士法では対象外で業務標準が明確でなく、公取対象外であるなどの問題を指摘しました。マンション管理組合については、専門知識の不足等により改修手法がわからないという現状があるため、信頼できる公的情報のさらなる情報発信が必要としました。

不動産協会は、老朽マンションで耐震性がある場合でも階高が低いなどの安全性に問題があり質的にも陳腐化していることが多いという実情を紹介。リフォームでは改善できないマンションについては、円滑に建て替えまたは敷地売却する制度が必要であるとしました。

現行制度では団地の一括建て替え決議をする場合、団地全体で五分の四の賛成に加え、棟別に各棟三分の二の賛成という要件も充たす必要があり、建て替えが難しい現状があります。団地の再生には住み続ける棟と建て替える棟を分割するなど、柔軟な施策が必要としました。

事務局は、地方公共団体が管理組合に対しマンション維持管理するための対策やマンション管理の適正化の仕組み、「適正な管理」の基準、一部の棟を残して他棟の建て替え棟を行う敷地分割の要件や留意点をあげる必要があることを、検討事項として挙げました。

3人に1人が自宅の「収納スペース」に不満　リクルート住まいカンパニー調べ

リクルート住まいカンパニー（東京都港区）が運営する不動産・住宅情報サイト「SUUMO（スーモ）」は11月6日、現在の住まいが持ち家マンションまたは一戸建ての20歳から69歳の男女2400人に実施した「自宅の満足度に関して」の調査結果を発表しました。それによると、29.3%が自宅の「収納スペース」に不満を感じていることがわかりました。結婚・出産などによる家族構成の変化を考慮しきれないまま、自宅を建築、購入している人が多いためとしています。

「自宅に取り入れておけば良かった間取り」についても、1位ウォークインクローゼット（13.9%）、3位納戸スペース（10.3%）、4位シューズインクローゼット（8.1%）など、収納関連が多くランクインしています。同社は、購入時に家族構成がはっきりしない場合でも収納スペースを確保し、フレキシブルに使えるようにしておいた方がいいとアドバイスしています。

自宅満足度（100点満点）については、80点台が25%と最も多く、次に70点台が続きました。また、住居の形態別では、マンションに住んでいる人の方が満足度が高いようです。全体的に自宅に満足している人が多いことがわかる結果となりました。

調査対象者は、住まい（持ち家）が北海道、宮城県、東京都、富山県、石川県、福井県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県、熊本県、鹿児島県にある20歳から69歳の男女。各200人／都道府県。

家事の分担比率「夫10%：妻90%」が最多　マクロミル調べ

マクロミル（東京都港区）は、「共働き夫婦の家事分担調査」を実施し、その結果を発表しました。夫・妻ともにフルタイムで働く夫婦に家事分担の理想の比率を尋ねると、夫婦平等の「夫50%：妻50%」が43%で最多。一方で、現実の比率としては「夫50%：妻50%」は13%に留まりました。最も多い分担比率は「夫10%：妻90%」で、理想と現実の間に大きなギャップが生じていることがわかりました。男性の家事分担比率は昨年に比べて全体的に減少していることから、家事分担は男女平等という理想が進む中、現実は後退しているとしています。

夫婦で同居する人のうち共働きであると回答した人は20代で52%、30代で53%、40代で63%。昨年の同調査と比較し、共働き夫婦は全年代で増加しました。夫婦ともにフルタイムで勤務している人は20代が32%、30代が25%、40代が24%で、特に20代は昨年からの伸びが目立ちました。

調査対象は、夫婦ともにフルタイムで働く20代から40代の既婚男女1000人。調査期間は10月10日から11日。就業状況の把握調査は、20代から40代の男女2万人を対象に行いました。調査期間は10月7日から8日。

所有不動産は「生前に売りたい」が3割　リビン・テクノロジーズ調べ

不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズ（東京都中央区）は、50歳以上の不動産を所有する人を対象に「不動産の終活」について調査し、その結果を発表しました。所有不動産に対する終活について、6割以上が「まだ考えていない」（40.0%）や「検討中」（22.9%）と答える中、33.7%が「売却する」と回答。アンケート回答者の1／3が、所有不動産は他界する前に処分したいと考えていることがわかりました。「法定相続する」（8.6%）、「生前贈与する」（4.6%）、「遺言書を書いた」（1.7%）、「共有名義を解消する」（0.6%）という回答もありました。

所有する不動産の種類としては、「自宅（戸建て）」（65.7%）が最も多く、「農地」（7.4%）、「区分マンション」（5.7%）、「山林」（5.1%）、「駐車場」（4.6%）、「1棟アパート」（4.0%）と続きました。

「人生の終わりのための活動」を意味する終活という言葉の認知度は83.4%にのぼりました。終活についてどう思うかという質問には、71.4%が「いずれしなければならないと思っている」と答えました。「するつもりはない」が11.4%、「すでにしている」が10.3%でした。

遺言書を残さなかったら、自分の死後に家族が相続争いをすると思うか尋ねると、86.9%が「しないと思う」と回答。相続争いをしないと思う理由としては、「そこまでの資産がない」（50.7%）が最も多かったようです。次いで、「争う人がいない」（35.5%）、「家族の仲が良いので、うちに限ってない」（15.1%）、「遺言書は書いてないが、遺志は伝えてある」（10.5%）となりました。

調査期間は9月25日から10月15日。「リビンマッチ」を利用した、不動産を所有する50歳以上の男女175人を対象に、インターネット調査を実施しました。

株式会社 躍進
本　社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 TEL048-688-3388 FAX048-680-7615
東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F TEL03-6804-2541 FAX03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp　E-mail=yakushin-no1@nifty.com

関連会社 不動産事業 株式会社ヤクシンジャパン
関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ

事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断